

見守る保育セミナー沖縄ブロック

見守る保育研究会 開催のお知らせ



～新指針から見る新しい保育と環境の提案～

協力：保育環境研究所ギビングツリー

全国的に展開しているギビングツリーのセミナーですが、11月に行われました長野ブロックセミナーにてこちら沖縄からも参加して頂きました園様からも「是非沖縄でも行ってください！」と情熱溢れるお声を頂き、また、「見守るはいく」研修にてご縁のある園様からも「是非、藤森先生の話をお職員一同で聞きたい」とのご意見も頂きまして、この度、開催することとしました。

子どもたちを取り巻く環境が変化していく中、今のわたしたちの保育を見直し、今の子どもに、私たちがあわせていく必要があります。子どもたちに落ち着いた生活と生き生きとした活動を保障するにはどうすればよいのか。また、保育者がその子どもたちの活動を大らかに見守れるゆとりのある保育をどうすれば取り戻すことができるのか。ギビングツリーが提案する、欧米各国では当たり前前の保育のかたちを新保育所保育指針との関係性も踏まえながら紹介致します。

子ども主体の保育とは何なのか、私たちの実践している内容から触れて頂ければと思います。皆様、どうかご参加お誘いあわせのともに学びあいましょう。

開催日時

2月16日(月)

14:00 受付

14:30 講演

16:30 終了

参加費 4,000円

会場

浦添市てだこホール

「市民交流室」

〒901-2103

沖縄県浦添市仲間1丁目9番3号

TEL:098-942-4360

FAX:098-942-4338



講師のご紹介

藤森 平司 保育環境研究所ギビングツリー代表 新宿せいが保育園 園長

大学で建築を学び、卒論で「学校建築」を取り上げたことから、オープンスクール、チームティーチングなど、教育を考え始めました。そして、他大学で教員の資格を取り、小学校の教員を経て、次第に地域、幼児教育へと関心が移っていきました。1979年、八王子市に省我保育園、1997年にせいがの森保育園を開園し、その実践から、次第に新しい保育観を持ち始めました。その頃、子どもたちが様々な事件を起こし、キレる子や自立していかない子などが問題にされ始めました。それらは、多子社会から少子社会への子ども環境の変化によるものが大きいと考え、新しい保育、教育を考えないといけないと思うようになりました。そして、そのキーワードを「関係性発達」とし、それを促す子ども集団(発達・課題別集団)の在り方を提案し、実践をはじめました。そしてその機能を効果的にする人的環境(見守る)、空間的環境(コーナー)、物的環境(教具・遊具)を考え、それを提案するために、2002年、保育環境研究所ギビングツリーを立ち上げました。現在、その提案は、幼児施設だけでなく、学校、行政、企業にも影響を及ぼしています。

お申込方法 **申込欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。**

お支払い方法 **銀行振込み 申込受付終了後、指定口座のご案内をいたします。**

申込記入欄 申込締切日 2月9日(月)

施設名		代表者	
住所	〒	TEL	

申込参加人数	名
--------	---

セミナー事務局

株式会社 **カグヤ**

新宿三井ビルディング2号館10階

Tel. 03-5909-7155 Fax. 03-5909-7199

申込み FAX 番号 03-5909-7199